

## 加工～ダイカスト： 概要

職務遂行のために必要な知識

(概要)

ホットチャンバ方式やコールドチャンバ方式などのダイカストマシンにより、高圧力をかけて行う鑄造作業のこと。ダイカスト法は、金属材料を削って作った金型を用いる鑄造法の一つである。

仕事の内容

鑄物には材質の違いによって鉄鑄物、銅鑄物、銅合金鑄物、軽合金鑄物などの種類がある。ダイカストの仕事は、その製品の種類・材質や生産方式の違いによって異なるものの、一般的には作業工程別に分担して行うことが多い。また、圧入機構の違いによって、ホットチャンバ方式、コールドチャンバ方式、真空ダイカスト方式等に分かれる。

ダイカストの作業工程は、コールドチャンバ方式の場合、1:型分割面清掃、2:離型剤塗布、3:型締め、4:注油、5:射出、6:冷却、7:型開き、8:押出し、9:製品取出し、10:トリミング、11:製品とビスケットの分離、となっており、1,2,4,9,10 は自動化が進んでいる。

(求められる経験・能力)

- (1) 入職に際して、公的資格は特に必要とされない。中学や高校を卒業してすぐに入職する者が中心であるが、最近では未経験の中高年者が他職種から転職してくる場合もある。
- (2) 技能検定(ダイカスト)の資格(特級、1級、2級)を取得することで技能が社内で認められて地位が向上することが多い。また、転職時にも、資格保有者は有利である。
- (3) ダイカスト工として必要な資質は、ダイカスト作業や関連技法に対する興味や関心を持っていること、さらにはダイカスト技法の技能向上への意欲を持っていること、そして心身ともにタフであること、などが挙げられる。

(関連する資格・検定等)

- 技能検定制度 (職種:ダイカスト) 特級 1級 ホットチャンバダイカスト作業、コールドチャンバダイカスト作業 2級 (1級に同じ)